

# 平成24年度さぬき市行政評価報告書

平成24年11月15日

さぬき市行政評価委員会

## 平成24年度行政評価をふりかえって

今年度の行政評価は、新たに事務事業外部評価として、市の実施している事務事業について、市内部における評価(内部評価)の客観性及び透明性を高め、事業の見直しや効率化を促進させるとともに、市民の皆さんに市の仕事をより理解してもらうことなどを目的として実施したものであります。具体的には、委員の意見をもとに選ばれた総務部、市民部、健康福祉部、建設経済部、上下水道部、教育委員会、市民病院の7つの部局の合計23の事業について、8月及び9月の5日間にわたって、事業所管部局職員による説明と質疑応答によって行いました。

評価を通して、厳しい財政難状況下においても、概ね各部局が目的意識を持ち、市民の立場で個々の事業に取り組んでいる姿勢が見受けられました。反面、行政評価の基礎となる手段を測定するための活動指標と達成度を評価するための成果指標の相違が十分理解されていなかったり、事業への思いや将来展望が希薄と感じられる部署も一部ありました。

今後は、職員個々が更に市民目線で問題意識と目的意識をしっかりと持ち、課題を共有しながら市全体を大所高所から見渡し、行政全般の最適化を目指していくことが大切です。そのためには、職員の適材適所への配置、やる気を引き出す組織づくり、努力が適正に評価される人事評価制度の導入などの取組も必要であると思われれます。

また、防災、地域活性化、定住促進など市を挙げて重点的に取り組むべき課題に対しては、部署間の連携を十分図りながら進めていくことが大切であり、早急な改善が望まれます。

さぬき市は、自然豊かで環境に恵まれている反面、都市機能の整備は進んでいるとはいえませんが、若者にも高齢者にも誰にとっても暮らしやすいまちづくりを永遠の使命として、今後、より一層の行政面の努力を期待します。

最後になりましたが、市民は、行政を評価手法でいう成果指標、すなわち「目的」の達成度で評価するものであり、まずは適切な目的を定めること、あわせて効果的・効率的な事業の実施が求められます。そのための一つの手段として、この外部評価が継続的に実施され、有効に活用されることで、さぬき市の行政のクオリティが更に高まれば幸いです。

さぬき市行政評価委員会

委員長 長山 貴之

## 各委員からの総括的意見

- ① 行政評価は、所管課による説明と評価委員による質疑等によって進むため、説明や応答のよしあしが評価に即結びつく傾向にあり、また住民に対する説明責任も高まってきているため、行政側の説明能力の向上が今後益々重要です。
- ② 調書や質疑への応答などにおいて、一部不親切・不適切と感じられる対応があったことは残念であり、市民や第三者に事業をより理解して貰い賛同を得られるよう次年度以降の改善を望みます。
- ③ 経営資源である人・物・金・情報に偏りがあり、効率が悪く、合併時に先送りされた課題なのか旧5町間でのアンバランスなどが見受けられるため、こうした地域間格差の是正が必要です。
- ④ やらなければならないことを後回しにしているように感じられた部分もあり、よりアイデアを出してスピーディーに対応していくことが必要ではないでしょうか。
- ⑤ 今回の評価における、総括的事項や個別の改善事項が今後どのように反映されるのかの追跡と検証が必要であると思います。

## 事務事業評価結果項目一覧表

No.	事業名	拡充	現状維持	要改善	抜本的見直し	統合廃止
1	医療提供サービス充実事業			○		
2	議会運営事業			○		
3	社会福祉総務事業			○		
4	シルバー人材センター補助事業			○		
5	保育所運営事業				○	
6	民間保育所育成事業		○			
7	汚水下水道管理費		○			
8	配水及び給水施設建設改良事業		○			
9	防災支援事業	○				
10	消防団支援事業		○			
11	企画事業	○				
12	土地開発公社債務解消事業		○			
13	学校支援ボランティア推進事業		○			
14	統合中学校建設事業		○			
15	幼稚園預かり保育事業		○			
16	塵芥処理事業		○			
17	自治振興事業		○			
18	市税賦課事業		○			
19	土地改良維持管理事業	○				
20	住宅管理事業		○			
21	担い手育成事業			○		
22	道路橋梁新設改良事業		○			
23	観光協会事務局事業			○		

## 個別事業に対する評価

事業名	医療提供サービス充実事業
担当部署名	市民病院
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>今回の説明では、総合計画上の目標である「安心できる医療環境のあるまちをつくる」といった目標を達成するための具体的な方策が見えず、目標自体も職員間で共有できていないように感じられた。また、目指すべき計画値も実情に合ったものとはなっておらず、早急に見直しを行う必要がある。</p> <p>自己評価は、現状維持となっているが、医療職員の不足解消や質の向上に関して改善の余地があることは自ら認めており、この事業に限ったことではないが、目標達成のための具体的方策を明確にし、これを職員間で共有することにより、職員の資質向上等を図ってサービスの向上に努めていくことが望まれる。</p>

事業名	議会運営事業
担当部署名	議会事務局 議事課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>市議会の活動をより多くの市民に知ってもらうためには、議会への関心を高める方策が必要であるが、傍聴者数も少なく、ケーブルテレビによる生中継については、視聴率の把握もできておらず、市民の関心度を測るための指標が不十分である。</p> <p>今後、市議会への関心を高め、議会の存在意義を明確にしていくには、情報公開を推進することが重要である。そのツールとしては、ホームページや広報紙が中心となるが、ただ公開するだけでは情報量が多いただけとなるため、検索機能の充実などわかりやすい内容とすることが重要である。</p> <p>なお、事務レベルの問題ではないものの、議員定数についても、現状が適正であるか否か等についての検証が必要ではないか。</p>

事業名	社会福祉総務事業
担当部署名	健康福祉部 福祉総務課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>市は社会福祉協議会に多額の補助金を支出しており、福祉事業の中身のチェック等を行うことが当然であるにもかかわらず、事業内容などは社協任せとなっており、活動に地域差も生じているようである。</p> <p>また、以前に比べて、社協の活動に対する市民の関心も薄れ、その結果、市民の参加や協力の度合いも低下しているように感じられる。本来、社会福祉の主体は市民であり、市民との協働による助け合いといった趣旨を明確にし、そのための事業の再構築と効果的なPRを推進していけるよう、今後は、市として、財政面のみならず幅広い支援を行っていく必要があるのではないかと。その際、必要な活動を実施するための組織や規模についても、見直しを図っていくことが望まれる。</p>

事業名	シルバー人材センター補助事業
担当部署名	健康福祉部 長寿障害福祉課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>高齢社会が進展する中、年齢を重ねても社会に貢献し、生きがいづくりにも繋がるシルバー人材センター事業の活動意義は大きい。</p> <p>ただ、現状は、会員数が伸び悩み活動自体も活発化しているとは言えない。市は補助の主体として、補助金の使途のチェックは当然であり、より事業内容への関わりを強める必要がある。また、市は退職者の実態把握による新たな会員の発掘や雇用先確保による業務拡大のための支援等にも携わっていくことが必要ではないか。</p> <p>なお、個人が直接業務を請け負った事例もあり、そうしたトラブルが発生しないよう、チェックにも努められたい。</p>

事業名	保育所運営事業
担当部署名	健康福祉部 子育て支援課
総合評価	抜本的見直し
評価理由及び改善箇所	<p>公立保育所の再編に関しては、少子化傾向の中、効率化のための統合は当然であるが、旧町1ヶ所にこだわる計画自体は疑問であり、地域の実情がより優先されるべきではないか。志度地区以外の統廃合の具体的な方向性は現時点で決定していないとのことであるので、今後事業を進めるに当たっては、地域の特性やニーズを十分把握し、住民や保護者への説明も行いながら計画の策定と推進を図っていくことが望まれる。</p> <p>また、運営自体に関しては、公立保育所よりも私立保育所の人気が高いとも耳にするが、両者は互いに補完し合うと同時に、ある意味競うべき関係にあることから、延長保育など特別保育の実施状況のほか、本来の保育サービスの満足度等に差異が生じていないかなど、常に自らが検証しながら事業を進めていく必要がある。</p>

事業名	民間保育所育成事業
担当部署名	健康福祉部 子育て支援課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>現在、市内の待機児童は「0」であり、民間保育所の貢献度は大きい。ただ、この事業のメニューのうち、国県の補助に基づく特別保育事業は、延長保育や子育て支援センターの設置などサービス向上に直結した部分であるが、職員研修助成事業や運営円滑化・処遇向上事業に関しては、その必要性を検証する必要があるのではないかと。なぜなら、本来自らの業務として保育を実施し、国の基準に基づく適正な委託料を受け取っているのであるから、職員の資質向上や運営の円滑化等は自らの責任において行うべきとも考えられ、具体的にどの部分に対してどれだけの範囲で助成する必要があるのかといった点は十分検討されるべきである。</p>

事業名	汚水下水道管理
担当部署名	上下水道部 下水道課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>さぬき市における下水道事業は、人口密度が低く、事業効率の面から採算性確保は難しいと思われるが、できる限り一般会計からの補填に頼らない一層の経営努力が必要である。その手法として、歳出面における更なる経費削減は勿論であるが、使用料の改定もやむを得ないのではないかと。ただ、接続可能エリア内の2万5千人に対して、実際の接続が約2万人に留まっており、負担の公平性及び経営健全化の両面から、これまで以上に接続への普及・啓発を強化すべきである。</p> <p>なお、現在も下水道事業と合併処理浄化槽設置助成による二つの汚水処理の手法が実施されているが、効率性や財政負担の面からそのすみわけ、とりわけ下水道計画エリアの見直しにも取り組んでいく必要があるのではないかと。</p>

事業名	給水施設建設改良事業
担当部署名	上下水道部 水道課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>安全安心な水の確保のためには事業を持続可能なものとしていく必要があり、そのためには有収率の向上も重要である。今後は、費用対効果も勘案しながら、水道管修繕の際の水量計設置など、漏水によるロスを未然に防止するための対策も取り入れてはどうか。</p> <p>また、県下の水道統一化については、事業としての安全性のほか、料金水準等の状況を見極めているとのことであり、引き続き適正な検討が行われることを期待する。</p>



事業名	防災支援事業
担当部署名	総務部 総務課
総合評価	拡充
評価理由及び改善箇所	<p>昨年の3.11東日本大震災では、市民の誰もが地震・津波災害の恐ろしさを痛感しており、防災支援事業の充実・強化の必要性について議論の余地はない。ただ、本年3月の防災訓練の内容にも疑問の声があがったが、有事の際に生き延びる訓練を実施することや、市民全体の防災意識が高まるような取組等に努められたい。</p> <p>また、防災計画についても、国や県の方針を待つことも必要ではあるが、地震等の災害はいつ起きても不思議でないことから、市独自で行える対策を早急に盛り込むことが重要であり、その際には、総務課だけでなく市役所全体で幅広い検討を行うべきである。</p>

事業名	消防団支援事業
担当部署名	総務部 総務課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>消防団活動はボランティア精神に基づく活動であり、常備消防の補完とともに、災害時等における役割は大変重要である。現状は、僅かではあるが定員620名を割り込んでおり、昨今の少子化や若者の地元離れの中で新規の団員確保が難しく、団員の高齢化も進んでいる。こうしたことから、それぞれの地域のコミュニティやネットワークを駆使して若年層の団員確保を図るなど、工夫を凝らした取組が必要である。</p> <p>また、地域の自主防災組織の組織率の向上と内容の充実、合わせて消防団活動との連携についても検討されたい。</p>

事業名	企画事業
担当部署名	政策課
総合評価	拡充
評価理由及び改善箇所	<p>当該事業は、人口減少対策、地域活性化、総合計画策定など雑多な内容となっており、まずは事業の整理による目標の明確化が必要である。</p> <p>ただ、国勢調査の結果を見ても、さぬき市の人口減少数は他市に比べて突出しており、「定住奨励金事業」、「地域活性化事業」など地域の活力向上に繋がる事業については拡充が望まれる。その際、特に人口減少対策については、前提となる要因の分析が重要であり、転出者から聞き取りを行う等アンケート調査を実施してその把握に努めるとともに、住みたくなるまちづくりに向けた検討も必要である。</p> <p>なお、更に視点を広げると、我が国は人口減少社会に突入しており、今後は空家の増加などこれまでになかった諸問題が生じてくることが予想されるため、その時々に応じた適切な対応が望まれる。</p>

事業名	土地開発公社債務解消事業
担当部署名	総務部 政策課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>土地の処分が遅れれば債務が上昇していくため、より早急な対応が必要であり、昨今の先行き不安定な社会経済状況を考えればなおさらである。市が公社の土地を購入して活用する計画も必要だが、民間への譲渡や活用もより積極的に行うべきであり、情報提供の強化は勿論のこと、時価の考え方を取り入れた交渉が求められる。</p> <p>また、現状の段階的処分のほか、県などが行っている土地開発公社の解散に向けた一括処分といった方法もあり、適正な選択を望む。</p>

事業名	学校支援ボランティア事業
担当部署名	教育委員会 生涯学習課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>ボランティアが学校の応援団として学校活動を支援する事業であり、地域の人材活用、高齢者の社会参加、また、地域に根差した学校づくりなど様々な面から、大変意義深い事業であるため、導入が全ての学校に拡大していくことが望ましい。</p> <p>今後は、環境美化や通学時等の支援から、総合的学習や教科学習の支援、スポーツ指導など学校本来の機能に対する部分への支援のウェイトを高めていくよう努めていくことが理想的ではないか。</p>

事業名	統合中学校建設事業
担当部署名	教育委員会 教育総務課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>今回の統合中学校建設に関しては、事業が相当程度進捗しており、ハード面に関する改善は見込めないが、学校は器よりもむしろ教育内容が重要であり、新設校としての教育方針を明確にするとともに、グローバル化など時代の変化に対応した教育内容の充実を図っていく必要がある。</p> <p>また、今後控えている学校再編に係る施設整備においては、将来の生徒数の見込に基づく適正規模化に努めていく必要がある。さらに、建設コストに留意しつつも、例えばエコに関しては最優先課題とするなど学校教育施設としてどの部分に力点をおいて整備するのかといった姿勢を明確にする必要があり、教育現場の声を反映する一方で、市としての方針をしっかりと定めて望むことが重要である。</p>

事業名	幼稚園預かり保育事業
担当部署名	教育委員会 学校教育課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>対象人数の変化に応じて条件を緩和するなどにより、現在の保育ニーズを満たし、待機を発生させていないことが何よりも評価できる。まずは、この状況を維持して貰いたい。</p> <p>今後さらに少子化傾向が予想される中、この事業へのニーズが規模の面で高まることは想定できないが、保護者の働き方によって預かり時間の延長など新たなニーズが発生することも予想されることから、常にそうしたニーズを的確にとらえ、必要な対応を行ってサービスの充実に努めていくことが望まれる。</p>

事業名	塵芥処理事業
担当部署名	生活環境課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>現状としてごみの排出量も減少しており、リサイクルの推進に関する啓発も為されていることから、より効率的な収集と安全で将来的にも確実なごみ処理といった側面に留意しながら、現在の取組を継続していくことが望まれる。</p> <p>ただ、増加する不法投棄に関しては更なる取組の強化が必要であり、検討中の小型家電の収集・再資源化については、早急に対応していくことが必要ではないか。</p>

事業名	自治振興事業
担当部署名	市民部 生活環境課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>自治会への補助金が大部分を占める事業であるが、その用途が実質的に福祉関係の寄付金に充てられるケースも多々見受けられることから、本来の自治会活動のための助成となるよう努めていく必要がある。</p> <p>なお、現状では、自治会の規模に相当な差異があり、活動内容も大きく異なっているため、自治会活動全般の底上げ、活性化のためには、こうした点に関して検討し、改善を図っていくことも望まれる。また、自治会長が持ち回りであるがゆえに活動が活性化しないといった状況もあるため、例えば、自治会長とは別に、地域事情に精通し積極的に活動を主導できるポジションを位置づける等の方法も考えられ、市としても様々な面からの自治会支援策を研究していく必要があるのではないか。</p>

事業名	市税賦課事業
担当部署名	税務課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>市税の賦課には電算システムの活用が不可欠であるが、今回導入のeI-taxも含めて各システムがオンライン化により連携していることが理想である。近く導入が予定されるマイナンバー制度によって住民基本台帳関連システム自体が大きく変化することが予想されるが、そうした点に特に留意して進めていく必要がある。なお、現状ではシステム間に人の作業が介在せざるを得ないため、人為的ミスを防ぐためのチェック体制のマニュアル化が急がれる。</p> <p>ただ、効率化されたシステムが整備されても、即税収増に繋がるものではないため、新たな滞納を防止し、徴収強化に努めていくことが必要である。</p>

事業名	土地改良維持管理事業
担当部署名	建設経済部 土地改良課
総合評価	拡充
評価理由及び改善箇所	<p>事業の中に様々なメニューが含まれているため、一体的評価は難しいが、防災面に着目し、ため池改修を中心に評価した。</p> <p>東日本大震災では、ため池が決壊し犠牲者が出たケースもあったため、老朽化した溜池の改修は急務である。まずは、危険性の把握に基づく避難計画を作るべきでないか。溜池ハザードマップの作成についても、調査を含めて早急な取組が必要である。</p> <p>また、中山間地域総合整備事業では、費用対効果の議論が交わされたが、国や県の基準による評価ばかりでなく、市として主体的に成果指標を認識するなど目標を明確にすべきである。</p> <p>なお、評価への対応に関しては、今後は、聞き手側の立場に立ったより適切な対応をお願いしたい。</p>

事業名	住宅管理事業
担当部署名	建設経済部 都市計画課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>住宅使用料の滞納額が約6千万円もあり、高額滞納者も数名いるとのことであるが、債権管理室と連携して徴収を強化するとともに、滞納自体を増やさないための仕組み作りが必要である。</p> <p>また、市営住宅のあり方については、平成16年度策定のストック総合計画があるが、既に相当の年数を経過し様々な状況も変化している。現有の789戸を今後何戸とし、いかなる方針で管理・運営していくのか、更新は行うのか否かなど、市の住宅政策の指針に照らしつつ、市民ニーズや市内の住宅事情等も踏まえて、抜本的に検討していく必要があるのではないかと。同時に、地域間の偏りについても、問題点として整理すべきである。</p> <p>また、定住促進の側面から、市営住宅の活用も検討してみてもどうか。</p>

事業名	担い手育成事業
担当部署名	建設経済部 農林水産課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>さぬき市の主要産業である農業の担い手育成は、非常に重要な問題であるにも関わらず、現在の取組と予算は貧弱であると言わざるを得ない。農業の採算性確保が難しく、後継者育成が困難な状況の中、農業振興のための産地育成事業等もあるようだが、地域における農業の核となる担い手や営農組織の育成に向けて、もっと危機感を持って踏み込んだ検討を行い、積極的事業展開を図っていくことが必要である。</p> <p>また、増加する遊休農地を活用して、就農による若年層等の定住促進策を検討するなど、まち全体の将来も考えながら、総合的にこうした問題の解決を図っていく視点も必要ではないか。</p>

事業名	道路橋梁新設改良事業
担当部署名	建設経済部 建設課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>市道整備率が一定以上の水準にあっても、市民からの道路新設改良の要望が止まない状況の中、それらの要望に応えていくことは勿論重要であるが、限りある財源を考慮すれば、整備に向けた計画を策定し、一定の範囲内で優先順位をつけた事業の実施が必要ではないか。また、施工に際しては、工法上の工夫や集中的投資による事業効果、事業効率のアップなどにも十分留意して欲しい。</p> <p>橋梁については、長寿命化に向けた計画づくりも始まっているようであるが、道路の維持管理も含めて、最小の経費で最大の効果が得られるよう、有効な取組の推進が望まれる。</p>

事業名	観光協会事務局事業
担当部署名	建設経済部 商工観光課
総合評価	要改善
評価理由及び 改善箇所	<p>観光協会が市の観光振興に一定の役割を果たし、市が多額の補助金を支出しているにも関わらず、現状は、市側の関与が足りないような印象を受ける。特に、合併後10年が経過しているが、未だ旧町単位でのイベントが数多く開催されており、今後は市が積極的に関与して、全体的な精査や統合に向けた議論が交わされるべき時期に来ているのではないかと。</p> <p>また、観光施策の基礎となる観光地の入込客数の把握が的確になされていないため、まずはそうした点からの改善を行い、豊富な観光資源の連携を図るなど有効な振興策に取り組むことで、交流人口の拡大、ひいては地域の活性化につなげていくことを期待したい。</p>



## さぬき市行政評価委員

委員長	長山 貴之
副委員長	鈴木 珠美
委員	柳井 恒夫
委員	奈良 正史
委員	工藤 衛一
委員	定國 美香
委員	津村 肇

## 平成24年度さぬき市行政評価委員会開催日程

### ○第1回行政評価委員会

日 時 平成24年5月29日(火) 9時30分～

場 所 さぬき市役所301会議室

内 容 ①委員長・副委員長の選任について  
②具体的評価方法について

### ○第2回行政評価委員会

日 時 平成24年8月9日(木) 13時30分～

場 所 さぬき市役所301・302会議室

内 容 事務事業外部評価(市民病院、議会事務局、健康福祉部)

### ○第3回行政評価委員会

日 時 平成24年8月23日(木) 18時00分～

場 所 さぬき市役所301・302会議室

内 容 事務事業外部評価(上下水道部、総務部)

### ○第4回行政評価委員会

日 時 平成24年9月6日(木) 13時30分～

場 所 さぬき市役所301・302会議室

内 容 事務事業外部評価(教育委員会事務局、市民部)

### ○第5回行政評価委員会

日 時 平成24年9月20日(木) 13時30分～

場 所 さぬき市役所附属棟多目的室

内 容 事務事業外部評価(建設経済部)

添付資料

○第6回行政評価委員会

日 時 平成24年10月25日(木) 14時00分～  
場 所 さぬき市役所303会議室  
内 容 報告内容の協議